

機械器具 51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 輸血・カテーテル用延長チューブ 12170012
(輸血セット用延長チューブ 12170062、輸液ポンプ用延長チューブ 12170052、輸血用連結管 70404000)

ニプロエクステンションチューブ

再使用禁止

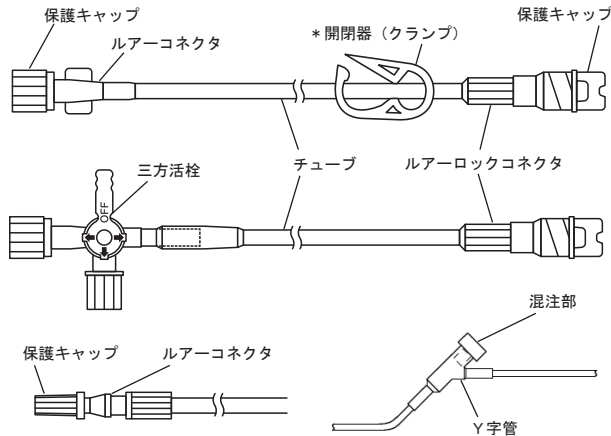
【禁忌・禁止】

1. 使用方法

- 1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造 (品種により構成部品が異なる場合がある)



2. 材質

チューブ	ポリ塩化ビニル
コネクタ	ポリカーボネート、又はポリプロピレン、又はアクリロニトリル-ブタジエン-スチレン共重合体
*三方活栓	ポリエチレン、ポリカーボネート、ポリプロピレン
Y字管	ポリカーボネート、イソブレンゴム

ポリ塩化ビニルの可塑剤はトリメリット酸トリ-2-エチルヘキシルである。

【使用目的又は効果】

輸液、輸血、採血、採液、造影剤投与 (150kPaを超えるものを除く) 及びポンプ式輸液・輸血等のラインを延長するために用いる単回使用の延長チューブである。

【使用方法等】

1. 共通の使用方法

- 1) 本品を包装から取り出します。
- 2) 保護キャップを外し、輸血回路、輸液回路等のISO 594-1又はISO 594-2に適合するコネクタにしっかりと接続します。ロック付きのものについては、接続後に確実にロックします。
- 3) プライミングを行い、本品に空気が残らないようにします。
- 4) 回路の流路をしっかりと確認し、輸液、輸血等を開始します。
- 5) 使用後は感染防止に注意し、安全な方法で廃棄します。

2. 薬液等の混注・側注を行う場合

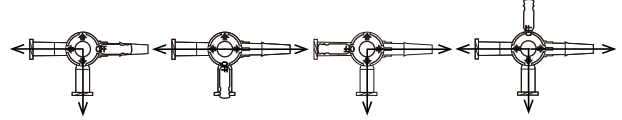
- 1) 混注部を消毒剤で消毒します。
- 2) 穿刺針を混注部のゴム栓に真っ直ぐ刺通して薬液等の混注を行います。
- 3) 混注終了後は混注部を保持しながら誤刺に注意して穿刺針を引き抜きます。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

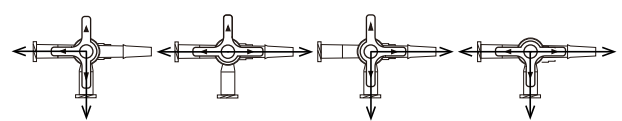
- *1. 接続部及び混注部には直接手を触れないでください。
- *2. 三方活栓のコックを必要以上に回転させないでください。[破損のおそれがあります。]

*3. 三方活栓の流路は以下のとおりです。

- 1) 1バーコックの場合



- 2) 3バーコックの場合



4. 本品のテーパ部に薬液等が附着した状態で他のコネクタ等を接続しないでください。[接続部が緩むおそれがあります。]
5. 三方活栓から薬剤等を混注する際には空気が混入しないように注意してください。
- *6. 開閉器 (クランプ) を閉じる場合は、チューブが確実に閉塞したことを確認してください。[未閉塞のおそれがあります。]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- *1) 150kPaを超える圧力条件で使用しないこと。[液漏れ、破損のおそれがある。]
- 2) 使用中は本品の破損、接続部の緩み、空気混入、液漏れ、詰まり等について、定期的に確認すること。
- 3) 脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤等を含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、三方活栓及びコネクタのひび割れについて注意すること。[薬液により三方活栓及び延長チューブ等のメスコネクタにひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入等の可能性がある。特に、全身麻酔剤、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響が生じる可能性がある。なお、過度の締め付け及びライン交換時の繰り返しの締め付け等はひび割れの発生を助長する要因となる。]
- 4) ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。
- *5) プライミング後は直ちに薬液等を投与すること。[薬液等汚染のおそれがある。]
- 6) 本品、又は接続された輸液ライン等が身体の下等に挟まれないよう注意すること。[閉塞、破損等が発生するおそれがある。]
- 7) チューブとコネクタの接続部には過度に引っ張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないように注意すること。[チューブの抜け、破損、伸び等のおそれがある。]
- 8) チューブと硬質部材 (コネクタ等) との接続部付近では開閉器 (クランプ) を操作しないこと。[チューブ破損のおそれがある。]
- 9) コネクタを接続する際は、過度な締め付けをしないこと。[コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損するおそれがある。]
- 10) ロックコネクタとポリ塩化ビニル製のメスコネクタを接続する際は外れなくなるおそれがあるので注意すること。
- 11) 三方活栓付きの場合、三方活栓から混注する際には、混注する薬液を考慮し、必要に応じてフラッシュを行うなど適切な方法で行うこと。[混注後、薬液の一部が滞留し直ちに流れないおそれがある。]
- 12) 本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから取扱いは注意すること。[製品が破損するおそれがある。]

2. 不具合・有害事象

*1) その他の不具合

- (1) 液漏れ
- (2) 空気混入
- (3) 接続した医療機器等の外れ
- (4) コネクタ等の破損

*2) その他の有害事象

- (1) 薬液等の汚染

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間

包装に記載の使用期限を参照のこと。

有効期間：滅菌後3年 [自己認証（自社データ）による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

**製造販売（お問い合わせ先）

ニプロ株式会社

フリーダイヤル：0120-226-410

受付時間：9:00～17:15（土・日・祝日を除く）

製造

尼普洛（上海）有限公司

[NIPRO(SHANGHAI)CORPORATION LIMITED]

中華人民共和国

[People's Republic of China]